

## 会社概要 (平成30年3月31日現在)

■所在地	東京都豊島区東池袋三丁目23番14号	
■設立	昭和52年5月6日	
■株式の状況	発行可能株式総数	40,000,000株
	発行済株式の総数	22,579,700株
	株主数	4,882名

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
イー・アンド・デイ従業員持株会	1,426千株	6.85%
HSBC BANK PLC A/C MARATHON FUSION JAPAN PARTNERSHIP LP	1,128	5.42
(株)デンソー	1,122	5.39
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	838	4.03
ピービーエイチフォーフィデリティロープライズストックファンド (プリンシパルオールセクターサポートフォリオ)	687	3.30
(株)埼玉りそな銀行	606	2.91
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	494	2.37
(株)足利銀行	490	2.35
古川 哲	400	1.92
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	348	1.67

(注)1. 当社は、提出会社名義の自己株式を1,755,880株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の導入に際して設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式335,400株を含んでおりません。  
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

■従業員	696名
■資本金	6,388,671,700円

重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
研精工業株式会社	81,800千円	100.0%	電子天秤及び医療機器の製造
リトラ株式会社	200,000千円	100.0%	インジケータ、ロードセル、電子式台秤及び選別・仕分け機器の製造
株式会社オリエンテック	268,640千円	100.0%	計測機器の製造
株式会社サム電子機械	330,000千円	100.0%	各種試験装置の製造、販売
株式会社ベスト測器	20,000千円	100.0%	環境計測機器の開発、製造、販売
株式会社MBS	200,000千円	100.0%	自動車計測に関するエンジニアリングサービスの提供
A&D ENGINEERING, INC.	200千米ドル	100.0%	当社製品の販売 (米国)
愛安徳電子(深圳)有限公司	45,000千香港ドル	100.0%	電子血圧計及び計量機器の製造
A&D RUS CO., LTD.	505,247千露布郎	100.0%	当社製品の販売 (ロシア)

# 第41期報告書

平成29年4月1日 ▶▶▶ 平成30年3月31日

**AND** 株式会社 **イー・アンド・デイ**  
Discover Precision

東京証券取引所市場第一部 証券コード：7745

## A&D Topics A&Dトピックス

### Topic1 新たにタグラインを制定しました

平成29年に創業40周年を迎えたことを機に、グループ内での公募により、A&Dグループは新たにタグラインを制定しました。

「Discover (発見)」は、現状に留まることなく新たな技術・事業の創造に向けて前進すること、  
「Precision (正確・精密)」は、より正しく、より精密な計測を追求し「本物」を極めることを意味します。

「Precision」は当社グループが向かい続ける世界、果たすべき役割、そして「Discover」は新たな発見とそれに向けての挑戦ともいえます。

「Discover Precision」が当社グループの使命です。

当社グループはこれからも「本物」を追求し、お客様による価値の創出を支援してまいります。

**AND**  
Discover Precision

### ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。

今後も株主の皆様に向けて当社の情報を提供してまいりますので、どうぞご覧ください。

<http://www.aandd.co.jp/>



### 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
株主確定基準日	3月31日 その他必要があるときは、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL <a href="http://www.aandd.co.jp/">http://www.aandd.co.jp/</a>
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

### <郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行 全国本支店 みずほ証券 全国本支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の全国本支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。

### Topic2 『Kardux Cup』を受賞しました

当社の米国現地法人A&D ENGINEERING, INC.が、国際的な計量・計測機器業界のカンファレンス「International Society of Weighing and Measurement (ISWM)」において、新しい技術的成果に与えられる『Kardux Cup』を受賞しました。

『Kardux Cup』とは  
カンファレンス開催時の直近2年間における、計量・計測業界に良い影響を及ぼす最も優れた新しい技術的成果に対して与えられる賞で、平成8年に創設されました。



汎用電子天びん GX-1003A

当社は平成22年にピペット容量テスター「AD-4212B-PT」で初受賞し、平成24年にマイクロ天びん「BM-20」で2期連続受賞しました。2期連続受賞は同賞の創設以来、初の快挙でした。

そして今回平成30年2月、米国ネバダ州ラスベガスで開催されたカンファレンスにおいて、汎用電子天びん「GX-A/GF-Aシリーズ」が3回目の受賞を果たしました。今回は「ECL (Electronically Controlled Load) : 電子制御荷重(自己点検)機能」がとくに高く評価され、受賞となりました。



トロフィーを手に喜びに沸く現地スタッフ

**AND**  
Discover Precision

株式会社イー・アンド・デイ  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号  
<http://www.aandd.co.jp/>

**UD**  
FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、  
ノンVOCインキで印刷しています。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに「第41期報告書」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度の当社グループを取り巻く経済環境は、日本においては過重労働問題や人口減少問題等の課題が顕在化する一方、企業業績や個人の所得については改善傾向で推移しました。

米国においてはトランプ政権の保護主義的な通商政策による国際的な対立の懸念が高まりつつあるものの、企業業績や雇用情勢は好調に推移しました。欧州では英国のEU離脱問題に加え、ロシアにおける経済制裁に端を発した景気低迷が続く、アジアでは朝鮮半島の緊張の高まり等の不安材料は見られるものの、経済成長に関しては概ね堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、新製品開発、新規市場の開拓に注力し、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応してまいりました。また、引き続き成長分野に対する積極的な投資を行うことで、他社との差別化を図ってまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は44,120百万円（前連結会計年度比9.8%増）、営業利益は2,379百万円（同109.8%増）、経常利益は2,333百万円（同111.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,828百万円（同283.0%増）となりました。

以上の業績結果を踏まえ、株主の皆様への期末配当金は1株につき7円、中間配当金を含めた当期の配当金は1株につき12円といたしました。

今後の見通しにつきましては、日本における企業業績は引き続き緩やかな回復傾向での推移が見込まれるものの、外交通商政策への対応の遅れによる経済面への悪影響や為替相場が前期に比べて円高傾向で推移することも懸念されることから、企業活動には慎重な対応が必要と思われる。海外においては地政学リスクや原油価格の上昇等、大きな影響を与える要素も数多く存在するものの、世界経済全体では当面緩やかな景気拡大が続くものと期待されます。

このような状況の中、当社グループでは、更なる技術研鑽と新規市場の開拓、新規顧客の獲得に尽力し、試験機やシステム品等の製品の標準化や海外生産の強化によって一層の原価低減に努めてまいります。また、より効果的な研究開発投資を進めていくとともに、販売費及び一般管理費の効率的な活用に努め、業績向上に邁進する所存であります。

**計測・計量機器事業** DSPシステムにおきましては、計測機・試験機メーカーである当社が提唱する自動車開発コンセプト「MBSim (Model Based Simulation)」を自動車・タイヤ業界に対し引き続き提案し、ユーザーにおける開発期間の大幅な短縮とローコスト化に貢献していくとともに、ユーザーとのコミュニケーションをより緊密にしニーズを把握することに一層注力し、その効率的な製造・販売体制の構築を継続してまいります。計量器におきましては、グローバルなリソースの集約、開発環境の見直しを行い、またマーケットの選択と集中を行い、製品開発サイクルを短縮することにより、ユーザーのニーズに即した競争力のある製品を開発・市場投入してまいります。

**医療・健康機器事業** 医療用の計量器や血圧計、家庭向けの健康機器につきましては、グローバルな視点で新市場の発掘に努めるほか、引き続き通信機能を付加した医療ICT向けの機器を拡充し、健康管理サービスと連携した製品を提案・拡充してまいります。健康機器では、中国現地法人での生産において、人民元高および人件費等のコスト増に対応するため、一層のコスト低減を引き続き推進すると同時に、近年稼働が本格化したベトナム現地法人での生産効率化をより進め、生産最適化を図ってまいります。

次期の連結業績予想は、売上高46,500百万円、営業利益2,600百万円、経常利益2,400百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,900百万円を予定しております。

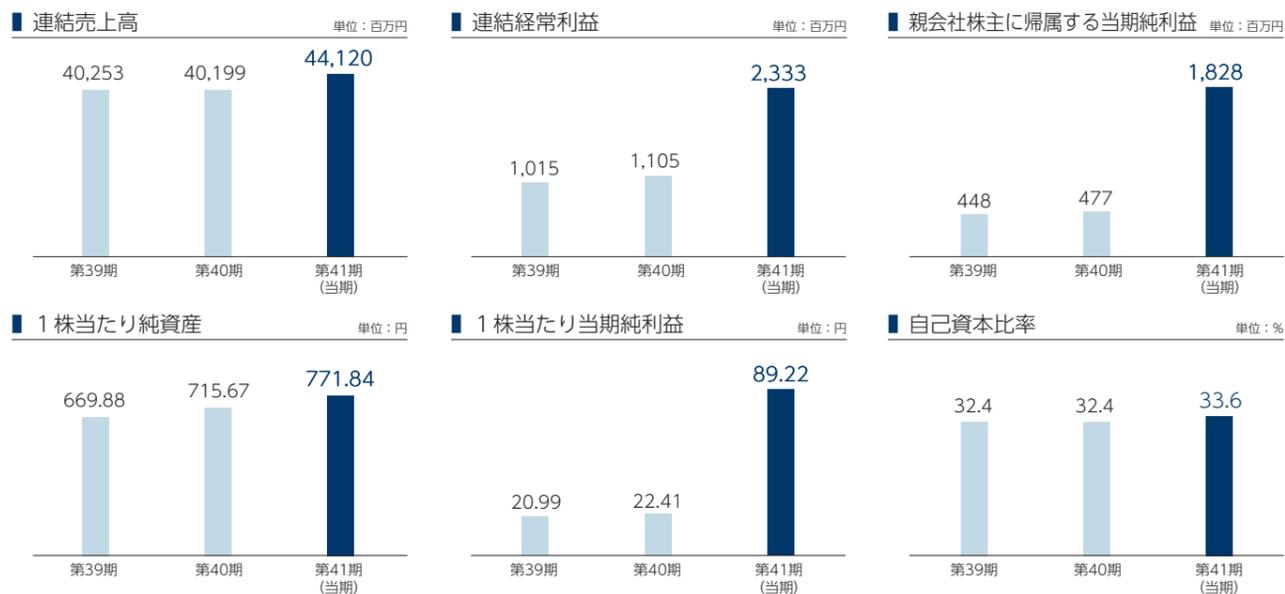
株主の皆様には、今後とも格別のご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 執行役員社長 森島 泰信

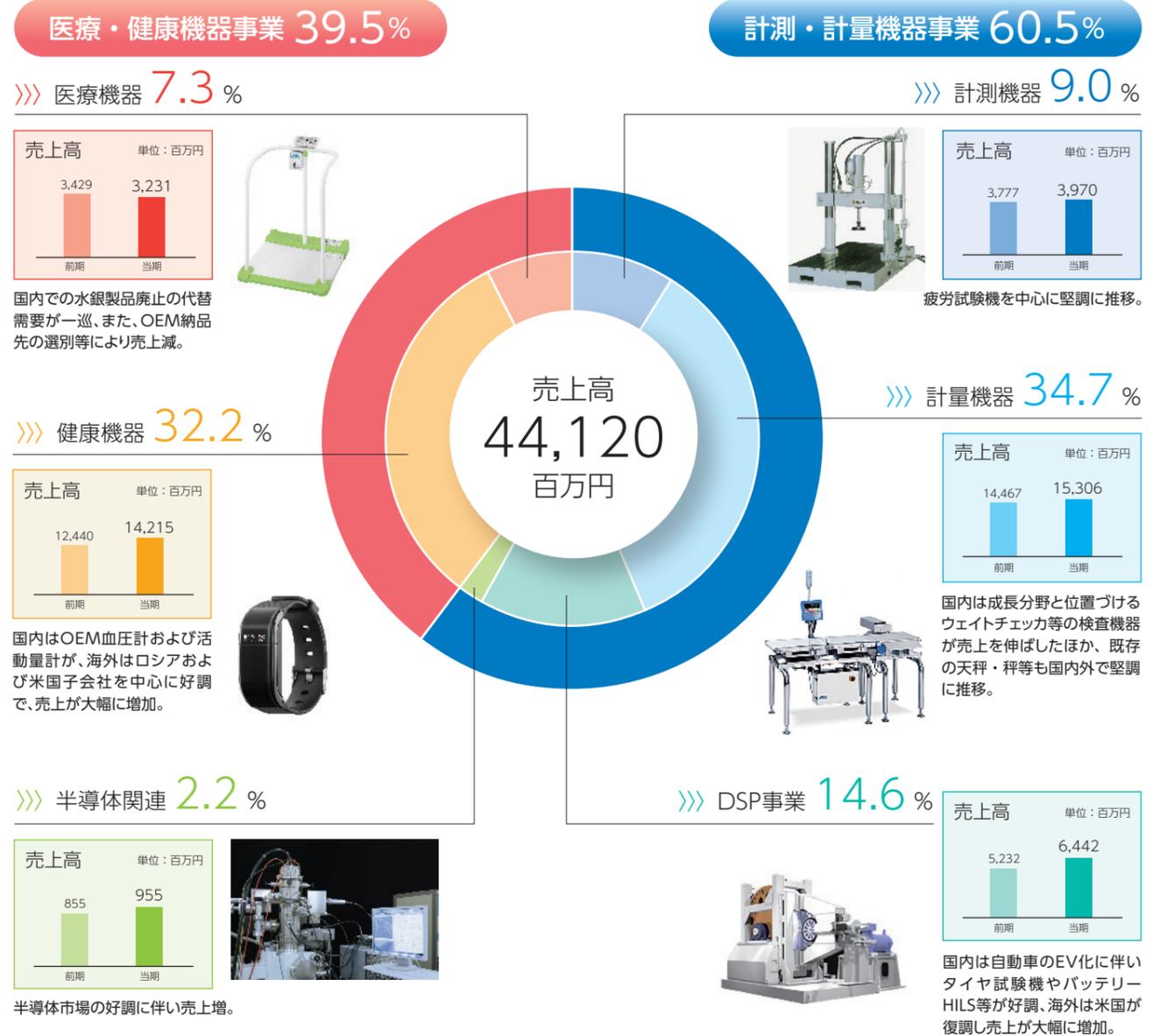
財務ハイライト

Financial highlights



営業の概況

Result of business



連結財務データ

Consolidated financial data

